

福山市特定非営利活動法人
特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第12号

福山市身連通信

2014 (H. 26) 年5月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-983-2411

目 次

市身連 年度末第三回理事会

市身連 その続き

NPOセミナー受講報告1

NPOセミナー受講報告2

ふれあいサロン開催

広島県身連 第二回総会

市身連へのご寄付のお願い

その続き

三月連絡役員会

NPOつて 他

平成二十五年度第二回理事会

日時 平成二十六年四月二十日
場所 福山市市民参画センター

年度替わりの諸行事をひがえ、福山市身連は「十五年度の締めをして、新年度の総会に向けての準備を整えるための理事会を開催しました。

今回の理事会は事務局等の都合で多少開催通知の連絡が緊急となつたため、出席の状態が心配されましたが、四名ほどの欠席委任を含めほぼ全員の意思表示と出席が確保でき、委員会として成立できました。また、この理事会には理事の欠員となった神辺の代表者も参加されました。しかし、総会後は晴れて理事として参加いただきます。

理事長あいさつ

前川 昭夫理事長

皆さんおはようございます。春なのにここもエアコンをつけてあるような寒い中、出席して頂きましたが、今後このようにこのままのないようになります。先ずお詫びですが、今回の理事会についての連絡が少し定款にあるように余裕を持つての連絡が出来ず、皆様が日程を前もって知つておられたことを頼りに開催でき

ます。この理事会では、事業の報告とか決算の報告をし、来年度の計画も各事業部で考えてもらつており、予算もきっちり作つてもらつておるようですから、これを提案してもらつて、来年度の活動は出来るわけですが、このような自主的な

事務所を佐波の人権センターの中

に開設出来る運びになつたことが一つ大きく報告できることかと思

います。この理事会では、事業の報告と

か決算の報告をし、来年度の計画

も各事業部で考えてもらつてお

るようですが、これで実現する

ようになります。理事長として

予算もきっちり作つてもらつてお

るようですから、これを提案して

もらつて、来年度の活動は出来る

ようになります。このように自主的

な事業を受けるようにして、資

金を伴う活動をみだして行かなく

はなりません。色々な障害者関

係事業がありますので、役所や専

門的な人たちにも相談して、二十

六年度一年かけてそれを決めてい

きたいと思います。理事長として

そのためこの任期いっぱいは努力

していく所存ですので、よろしく

お願いいたします。

理事会 審議事項

六項目

一、議事録記録者と署名人
議事録は 藤井貢事務局長 と
重藤 弘明事務局次長 が作成し
署名人は 江草 忠儀理事 と
菅原 晃理事 がおこなう。

それでNPO法人として九月に活動しだしてからの経費の收支を報告され、前市身連の基金としていた定期等を引き継いで、今後法人に寄付金として組み入れることなども説明され、承認されました。

二、前年度事業と決算の報告

三、監査報告

私たちの市身連もNPO法人に事業報告については広島県に提出する報告書をそのまま事務局が日にちの確認をすることで承認され、決算報告は白石会計が税理士と作成された、活動計算書、財務諸表、貸借対照表、財産目録等の説明を

会計監査は四月十四日、中央ビル事務所で、総務会と同時に、監事の鴨田氏、馬場氏によって行われ、報告書が提出されており、理事会には欠席でしたが承認されました。

四、新年度事業計画と予算

総会資料として、はじめに と題

して序文が報告されたが、それは どっちでもいいから、具体的な活動予定が全く出ていないことはなぜだと、言うことになり、全く不備であり、一応提出されている各事業部の計画と照らし合わせ、総会に間に合うよう作成することを事務局が約束して承認。

予算については、事務所移転の予定もあり、管理費関係だけで約五〇万円の支出が見込まれ、各事業の予算としては、収入の見込まれない中、五部門で各一〇万円づつを予算として割り振っておきたいと説明があり、それを了承となりました。

五、新年度役員の件

副理事長であった神辺協会の渡部氏が亡くなり空席の理事に、後任の神辺協会長の田上敬二氏を理事に推薦し、全員賛成。また、監事の馬場氏が退任を申し出られており、これを認め、その後任に同

じく神辺協会の、園生活治氏が推薦され全員賛成。二人は五月の総会で決定されます。

六、総会の日程と議題

日程については、あらかじめ予約を取り、五月の八日に午前十時から開催とし、案内をする。議題としては、

- ① 事業・決算の報告
- ② 監査報告
- ③ 新年度事業計画・予算案
- ④ 役員の決定

等が予定されております。

* 連絡事項

以上で理事会としての議事を終了し理事会は終わりましたが、連絡事項として、相談協の研修会の提案がありました。平成二十五年度事業としての研修会を、新年度に入った4月にやるということで、反対意見も多々ありましたが、とにかく四月二十八日に行う予定で案内を出すということです。

障がい者相談員委託更新

手間取り、少々予定通りに行つてないようです。

市の希望では四月二十日頃

福山市から委託されている障がい者相談員の任期が三月で終わり、改めての推薦を福山市身連から出してもらうよう依頼があり、二年前の時のように各協会長から、引き続き推薦出来る人を出して、連合会で取りまとめて市へ提出する

こととしました。また公募の人には直接通知がありましたが、今年から連合会から一緒に申請してくださいと言つことになつたようです。

市からの連絡は年度末ギリギリでしたが、各協会への伝達に少し赤坂御苑で開催されておりますがその招待者は中央官庁が各分野毎に推薦した労働者や国會議員、官僚、知事など自治体関係者等夫妻に招待され、雅楽の流れる中、軽食をいただきながら、天皇陛下始め皇族の方々と言葉を交わされるこ

とになるようです。

例年年度初めにある研修会は今年も六月に入つて開催される予定になつてゐるようです。

前川理事長 春の園遊会へ招待される

例年、春と秋の二回、天皇、皇后両陛下主催の園遊会が、東京の赤坂御苑で開催されておりますがその招待者は中央官庁が各分野毎に推薦した労働者や国會議員、官僚、知事など自治体関係者等夫妻に招待され、雅楽の流れる中、軽食をいただきながら、天皇陛下始め皇族の方々と言葉を交わされるこ

とになるようです。

この春の園遊会に広島県では湯

手のそばには見えませんでした。前川理事長は、昨年の旭日双光章の受章に続き今年は園遊会への招待と広島県内障害者としての栄誉を一身に受けられることになつたようです。

セミナー受講報告 市身連三役 3名

NPO法人 ひろしまNPOセンター 主催

仕組みと支援を使えるNPOになる!

日時 二〇一四年一月二二日
場所 広島市中区幟会館6F

福山市身連に届いたひろしまN

Pセンターからの表題のような

テーマでの案内を見て、NPOと
して発足もない市身連としては
大いに参考になる講習が聞けるで
あるうと、三島副理事長、重藤事
務局次長、と私村上の三名でセミ
ナーに参加して来ました。

会場は同センターの入っている

幟会館の6階のさほど広くない会
議室でしたが50名程の受講生で
ほぼ満席でした。NPO法人とし
て活動されている3社の実際の活
動の報告を、NPOとして発足し
たてや、これからしたいと思って
いる人、どのように人員を集め
るか、資金をどう集めるか知りたい

私たちと同じようなグループ、人
たちが参加していました。

受講者は机の無い椅子だけの席
で、資料も団体のパンフレットが
封筒にあるだけで、受講内容はプロ
ジェクターで映し出される画
面での勉強でしたので、全て記憶
して帰る事はとても難しいセミナー
でした。

しかし3社の団体の話は実際に
活動しているいわば成功されて
いる団体で、何のために始めたか、
どんな人が働いているか、どう資
金を集め、どう活動しているかを
説明をうけ、その話の内容はまず
気構えとして大いに参考になりました。

NPOの先輩として講師をされ
た団体は先ず広島の「ふぞろいP
ロジェクト」の事務局長で団体の
創立の頃より、活動の理解者があ
り、支援を受けながら徐々に活動
を確立して、今は日用品を開発
されている現状までの説明を、次
の団体は「ふれあい館ひろしま」
で地元の街で必要とされていた子

ふぞろいプロジェクト

場所 広島市中区本川町1-1-22

設立 2009年4月3日

代表 中島 良尚

URL <http://fuzoroiproject.web.fc2.com/fuzoroi/index.html>

理念 *規格にこだわらず農家が生き残るために様々な工夫を
して農家を守り育てる。

*三次市から始め、2012年より桜の塩漬けを使い和風
ドレッシングを販売、ヒット商品となっている。

*他に三次市 東広島市に事務所

育ての支援をする施設として始め
本当に役に立つ事業であったため、
今は7項目の事業で活動し、市が
その活動を評価し、すでに5つの
部門で市の委託事業となっている
活動の説明を、そして今回セミナー
でメインの一番時間をとつてあつ
た東京に本部を持つ「かものはし
プロジェクト」から日本事業総括
の山元氏が活動の元となる資金に
対する講義をされ 国際的な活動
のなかで収入がある面は僅かであ
り、活動の中で資金集めとスタッ
フ集めが最も重要な事で、これに
ついて、寄付金、補助金とかその
種類と使い勝手、そして集め方に
ついては5W1Hの項目に分けて
なるほどと思う説明をされました。
根本は自分たちの活動の趣旨を
しっかり広報、説明して会員やサ
ポーター、ボランティア、スタッ
フとして協力してもらい、寄付や
会費を受けるように力を入れる
こと、今日の私に求められたテー
マ「ファンド・レイジング（資金
集め）」ではなく大切なのは「フ
レンド・レイジング」を田指すべ
きであるとの説明がなされました。
(次ページに続く)

(セミナー 続き)

しかし発表された3団体の活動と私たちの場合では、地域的な事、内容のつながりは低く、そのあとに行われた目標別に4つのグループに分かれての意見交換で「事業に関するお金」をテーマにした班が自分たちの聞きたい話に一番近いと思いそのグループに加わり、

話し合つこととしました。各グループに講習をされた団体の人とは別にサポーターとして、私たちのグループで言うと金融機関の人も加わって、受講生の質問に答える方式で行われました。

このなかで、私たちの現状と、これから活動目標等を言いかけましたが、先ず講習をされた団体の方から一方的にダメ出しを受け、一般的に事業あつて活動始めるのが鉄則で、収入を伴う事業を見出していくこうとするのは順序が違うと、私たちの聞きたい話にはなかなか到達できませんでした。

今回のセミナーはこれもNPO法人のひろしまNPOセンターの主催でしたが、セミナーの始まりにセンター長が居ながら挨拶もなく進行を確認するレジメもなく、講師で来られている人の紹介も講義の時までなく、ましてサポートで参加されていた方は、後でこんな人たちも来られていたんだと思うような進行で、このセンターも私たちと同じくNPOとして出来立てで講習会のやり方も勉強中なんだと思って帰つてからホームページを開いて見るとなんと19

かものはしプロジェクト

東京都渋谷区広尾 長谷部第1ビル

2002年 (NPO取得 2004.9.22)

村田早耶香 / 青木 / 元木

<http://www.kamonohashi-project.net/about/>
代表がカンボジアを訪れたとき、貧しい家の子供が売られ売春をさせられている現実をなんとかしたいとプロジェクトを組む。法人になるそれまでも困難を克服し、いま年間1億円を超える資金を得て動いている。

ことはありません、何人もおりません」と言いましたが、「ふぞろいプロジェクト」の事務局長も「ふれ

い館ひろしま」の事務局次長も女性が説明に来られていて、男の三人や四人よりも女性一人の幹部

がいる方がよっぽど役につつ!とそのことを強烈に強調されて圧倒されました。

このセミナーを受けての結論として我が団体がしつかり発展していくには、事務局長を女性にすることが先決で、そのためには藤井貢氏に性転換してオネエになつてもらつしかないようです。・・・

NPO法人 陽だまり

場所 東広島市西条中央7-17-35

設立 2000年 (NPO取得2003年6月)

管理者 佐々木 政美

URL www.npo-hidamari.or.jp

理念 必要なサービスを私たち市民の視点で創りだす

事業 有料在宅福祉サービス

福祉有償運送。放課後子供預り

障害者訪問介護

泣かせます。

98年のNPO促進法の出来た頃から15周年を迎えるNPO法人であるとなつておりました。

活字や紙面での資料のない講習会の内容の報告をするのは受講生泣かせです。

この講習に私たちの団体では野郎が三名で参加しましたので、くだんの女史にあなたたちの団体は女性はないのかと聞かれそんな

時 2014年3月16日 所 神辺公民館

第1回 障害者相談支援ふれあいサロン 開催

主催 NPO法人福山市身連
新市・神辺・加茂・芦田・駅家 相談支援事業部
北部 5協会

しかし今年度、事業もせず終わること相談支援事業長を先頭に北部五協会が共同して第一回のふれあいサロンを開催しました。

福山市身連は昨年九月NPO法
人に移行して半年、年度末を迎
ようとしていますが、最初から事
業を特定しての発足ではなく、障
害者福祉という広い範囲の中での
項目かの活動案を検討中ですが、
即行動に移すにはなかなか難しく
新年度からしつかり体制を整えつ
つ取り掛かっていこうとしていま
す。



願いし、活動の意義を話していく。ただき、そして内山講師に約1時間、この時期峠は超えました。がインフルエンザやノロウイルスなどに対する予防や対応、消毒等についての講義を受けました。

と設けて、並行して
争としました。そ
しておきました。
流するためのビン
からも一段と厳し
ましたが、当日
る好天で、神辺
会場は、50名程
出席となる大変な

ゲームでは最初にビンゴになつた人から十人に特賞として用意された賞品の中で好きなものをもらひ、その後の十人には百均で用意されたボールベンセット、そして残っていた菓子等を景品に楽しく盛り上りました。

今回は試験的行事としての開催でしたが、北部5協会と言つても地区別では福山、松永地区以外のほとんどの協会でもあり、けつこう多数の会員さんが参加されて、相談や会員の親睦事業としてとてもいい活動成績であつたと思われます。

したが、幸い出席の会員はこの冬を越えて出席されていたので、皆さんはその人なりの体調管理がうまく出来ておられるのだと思うと言ふわれました。最後は歌は免疫の強化にとてもいいと三百六十五歩のマーチを歌つて終わりました。

講習が終わり少々休憩の後、皆さんに参加賞の電池とビンゴゲームのカードが配られ、ゲームが始まりました。

広島県身体障害者団体連合会

べきという
意見にそつ
て日程を再
考すること
や、今年度
中四国大会
が中止になつ
た代わりで
はないが、

平成一十五年度第一回総会

日時 平成二十六年三月二十日
場所 広島県健康福祉センター

広島県身連は三月二十日、新年
度を見据えて、年度末第二回の總
会を開き、二六年度の目標と行事
案、そしてその予算案を当日午前
の理事会に引き続き總会に提案し
ほぼ原案通りに可決されました。

福山市身連では、会員代表役員
として出席されていた渡部氏が亡
くなられ、その残りの任期を代わつ
て務める事になつた村上が出席し
て来ました。初めての参加で總会
における立場がよく理解出来てお
りませんでしたが、市身連関係では
は鎌刈会長、前川副会長、藤井理
事が午前の理事会から引き続きの
総会で、内容はしっかりと把握され
ていると思います。

新年度の行事予定では、理事会
と總会を一日で済ますのでなく、
二週間ほどの間をおいて總会をす

県身連として感じている事・・鎌刈会長の説明

会長から別に説明があった事案で、県が主導しているアイサボート運動が、たまたま前日県がサポート企業を募集し、認証大会のような会を開き、その会場で参加企業の社員の数だけサポーターとしてカウントされ、県は何万人のサポーターが参加していると発表しているがこの運動に対し当事者には全く話し合うことなく福祉・福祉といかにも理解している様に言われることが本意ではなく県はもっと当事者と意見交換をして欲しいということでした。

ご利用下さい

「力・コーラの方でした。

すこやかセンター内
自動販売機

会員の皆さん、すこやかセンターにおいでのは、いや、前を通りかかるた時でも中まで入って、連合会のためこの自販機をどうぞご利用下さい。

予算案では新年度から県大会に
県からの補助金がカットされ九万
円が出なく、今年中四国大会が中
止になり、その補助もカットで減
額予算になるという説明でした。

私達市身連が運営させてもらつ
ている飲み物の自動販売機が
正面入口を入つて右側突き当
たりに、二台設置されている
うちの一台（コカ・コー
ラのマークのある方）で
すが、以前の説明で市身
連のは明治乳業の方だと
聞いている人が多く、出
来るだけそちらを利用し
てきましたが、確認した
ところ、そうではなくて

県身連 事務局長交代
事務局長としてお世話されてい
た 木下直輝 氏が退職され
後任として

小畠浩示（おばたこうじ）氏
が就任され、お世話されます。

この自販機でーす



○福山市身連 3月（H25年度最終）連絡会

とき 2014年3月24日
ところ 福山市市民参画センター
ぎだい 障害者団体行事対応と新年度準備

1、ふれあいサロン開催についての報告

三島副理事長から開催の状況や参加者に関する報告

重藤事務局次長による開催までの経過や費用等の報告

2、第59回全国大会（5月 島根県で開催）参加の件

- ・福山市身連でツアーを組みバス1台で20名程の参加を予定する。
- ・前回予定していた宿を変更、全室洋室のホテルに宿泊（個室）
- ・今年度中四国大会の中止があり、今大会の補助をして参加者個人負担を22,000円の予算に抑えておこなう。

3、広島県障害者スポーツ大会 参加の件

- ・以前からの出場者には参加申込書が届くことになっており、本人が参加を申込みその他の人も、4月4日までに東広島か福山市に申し込む。
- ・出場・応援で福山市身連仕立てのバス利用希望者は4月中に事務局（藤井武儀宅）にFaxすること。

4、新年度に向けてに準備

- ・新年度予算を立てるため各事業部門の責任者は行事予定とその予算を出してもらうことにしていますが、揃っていない分は会計の方で割り振りしないと間に合わない
- ・新年度日程として、決算等の年度末締めの総務会を開催して、
4月20日 理事会（市民参画センター）を開催し、議事承認をへて
5月8日 総会（市民参画センター）を開催することを決定。

5、福山市へ申請

市への補助金申請のため、新年度予算を提出する必要があり、その書類については事務局に一任する。

特報

福山市身連 新事務所 開設へ

福山市身連は、活動の拠点となる事務所を会員個人の所有である中央ビルの部屋をいまとりあえず使用させてもらっていますが、ここ何年福山市に何とか市の施設等を使わせてもらえないかと陳情してきましたが、この年度末、その件を何とかしましょうと、対応してもらえることになりそうです。今まで車いすでの入室や、駐車場等で困難がありましたが、今回話になっているのは、佐波町の人権センターで、入口を入ってすぐ右側の資料室として使われていた部屋で、そこにある資料等を他の図書室等に移動して、部屋を開ける準備をして頂けることになるようです。

そこを使わせてもらえると、車椅子での出入りも、トイレも心配いらず、駐車場も大きな行事の日以外はほとんど心配なしで、大変便利になります。センターの準備が終われば連合会としても、移動のため事務手続きや、今ある事務器以外で必要なものを整えて、入居させてもらうのは6月中旬くらいになる模様です。

NPO法人 改めて知つておもましよう

?私たちの連合会が認可を受けたNPO法人とは?

1、法人とは

*一般に法人というと会社みたいなもんじゃらうとなりますが、法人格と言われるようになり、人間のように人格や権利・義務の主体として動ける、信用される組織・団体であること

2、NPOとは

*頭文字を直訳すれば、金儲けを目的としない団体となり、正式には「特定非営利活動法人」と呼び、福祉や教育等の団体が多い

3、できた経緯

*阪神大震災で多くのボランティアが活動しましたが、非常にやりにくく、それを解消し活動できるように1998年に促進法ができ、始まった

4、メリット

*毎年県にその活動報告・会計の公開をして、団体としての信用を得ることで、行政の補助金を受けたり、事務所を借りたり、銀行口座を開ける

5、設立条件

*二十項目ある分野の中から目的とする活動内容（市身連は一番多い保健医療、福祉の部）を決め、役員4人会員10人以上が必要。県に申請し認可を受けて、活動できる。

6、問題点

*一番は活動資金を得ることがなかなか難しい事です。収入があればスタッフに給料を払って事業を行うわけですが、市身連はまだそれがありません。最近は寄付金集めに力を入れている団体が増えているようです。寄付をした方に政府も税金面で優遇しています。皆さん余っている小遣いをどうぞ寄付を!

編集委員会より

我々市身連は年度途中でNPO法人として認可されて半年余り、

ります。

年度末を迎えたのでこれまでの連合会の年度替わりと違い、法人として定められている事務処理、会計の処理をきっちりと、県へそのまま報告出来る形で取りまとめ、

新年度とはいえ、総会時点で一ヶ月あまりは経過しており、いよいよNPO法人としての本格的な活動ができるよう、正念場を迎えることになります。

資料として作成しなければならず会計の白石氏は税理士にも依頼してその処理に連日のように対応に追われながら、総会前の理事会に間に合わせるよう頑張つておられました。

さいわい、六月頃から新しい事務所に移転して設備等も揃えば、今はすですかから、会員の皆様にしっかり頑張つていただくには、幹部の役員が、はつきりした目標や、

又活動報告等の事務処理のため事務局も分担して、総会資料の作成をし、五月初旬と決まった総会に間に合わせるよう頑張られておりました。

月度の活動は今より使い勝手はいいはずですから、会員の皆様にしっかり頑張つていただくには、幹部の役員が、はつきりした目標や、色々な情報を、徹底的に迅速に通達して、対応出来るようになることが、今一番求められていることだと思います。（M）

